

第9次派遣(住田) 6月27日(月)~7月3日(日)

三田 真也さん (近 畿)
神橋 伸佳さん (近 畿)
班長：長野 修一さん (九 州)
山下 育孝さん (九 州)

《全労金第9次出発！！》 6月27日

今日はボランティアメンバーの入替日です。

第8次として活動された末留書記次長、沖縄労組吉元さん、セントラル労組蒲原さんの3名は元気に東京（全労金書記局）に帰ってきました。

そして、今日から第9次として、近畿労組の三田さん、神橋さん、九州労組の長野さん、山下さんの4名が住田ベースキャンプに向けて出発されました。

第9次は、連合ボランティア全体の日程変更に伴い6泊7日（実働5日）の活動となります。

4名の活動の源は全国9,000名の組合員の団結力です。

引き続き、エールをお願いするとともに、団結の輪を広げていただくようよろしくお願いいたします。



《左から、長野さん、三田さん、山下さん、神橋さん》

《一致団結!!》 6月27日



10時半に連合会館を出発し、途中休憩挟みながら約9時間半。20時前に住田BCに到着しました。雨が朝から降り続き、気温は18℃。ブルーシートが否応なしに被災地の現状を突き付けてきます。

九州・近畿それぞれ2人、4人がこれから1週間気持ちを合わせて1つのチームとして頑張ります。明日の作業予定は、被災家屋の片付けか救援物資の仕分けか。右も左も分からないままですが、気持ちは高ぶり早く明日が待ち遠しいです。

連合を出発する際にいただいた挨拶の言葉。「3つの思いを大切に。1つ目は被災地の方への思い。2つ目は一緒に作業する仲間への思い。そして3つ目は、温かく送り出してくれた職場の仲間への思い」。しっかり胸に刻み、明日から精一杯頑張ります。

PS. 4人でみなさんからのブログへの書き込み、頭を突き合わせて読んでます。応援ホンマに力になります。ありがとうございます。（執筆：神橋）

《ランチタイム報告》 6月28日



ランチタイム報告です！

初めて現地の被害状況を目の当たりにして、言葉になりませんでした。今日の作業内容は救援物資の搬入作業です！朝から10トントラック1台、4トントラック2台、2トントラック4台分の物資を20人で搬入しました！九州の2名は大丈夫ですが、近畿の2名は早くも肩腕が痛いと言っておりエアサロンプスを噴射させています！午後からも同様の作業が続きます！4人力をあわせて、昼からもガンバります！

PS 海岸付近で大量に発生するハエがなぜか神ちゃんの周りを取り囲んでいると思うのは私だけでしょうか？以上、ランチ報告担当三田でした



《昨日1日目を終えて》 6月29日

昨夜アップ予定が不具合のため、今朝から昨日の報告を掲載いたします。全国の仲間の皆さん、ブログへの応援メッセージ本当にありがとうございます。今日の報告を九州労組長野からさせていただきます。

今日は、昨夜までの雨とうってかわり大船渡は朝から晴天でした。ランチタイムでも報告した通り、私たちの班では救援物質の搬入が本日の作業で正直皆へトヘトのようです。ただ、帰り途中は温泉にも入れ充実した1日でした。

夕食後には自己紹介を含む親睦会が開催され、全国各地から様々な思いで参加されている方々の話を聞いて、改めて労組の大切さや繋がりを実感したところです。

また、地元岩手気仙郡地協の方から震災直後の状況の話も生で聞くことができました。余りの衝撃的な話しに言葉を失いましたが、私たちにできる精一杯の事をしようと4人で確認しました。まだまだ明日以降活動は続きますが、被災者への心のお手伝いもできたらと思います。本日はこれで終わります。

写真は休憩中の山下さん、三田さん、神橋さんです。それと被災体験された連合の仲間の報告の様子です



《猛暑日！！》 6月29日



みなさん、こんにちは！只今、活動2日目お昼の休憩中です。全労金の4人、そして住田BCメンバー全員、お陰様で2日目も元気に活動しています。

本日の活動内容は昨日と同様、救援物資の仕分け作業です。日本全国各地から送られてくる救援物資でテントが埋まっていく様子を見てると日本人の優しさを感じます。

大船渡市の本日の最高気温は31℃。今日も暑くなりますが、熱中症に気を付けて4人力を合わせ頑張っていきます。応援よろしくお願ひします！（報告:山下） PS ハエはやっぱり神橋さんが好きみたいです(^-^)/

《体のお手入れ(o^v^o)》 6月29日



《一緒に作業した大船渡市の臨時職員の女性とのツーショット♪》

2日目が終了しました！昼に報告した通り、救援物資の搬入作業ですが、これがキツイんです(T_T) 10tトラックにすし詰め運ばれてきた荷物を、20人でリレーで運び込み、大きさや段ボールの強度を見て積み上げ。腕と腰がパンパンになりました(;_;)

作業後に立ち寄るコンビニが1日1回唯一の買い出しスポット♪みんなアイスやらツマミやらをワイワイ買い込みます。そして宿泊所に戻ると体のお手入れは欠かせません！今日も三田さんの腰にアンメルツを塗る係の私…(≡_≡)TVもない山奥の宿泊所におり、唯一の楽しみは、ブログへの応援メッセージです(^0^)明日からもみなさんからの沢山の声援待ってます♪

P. S. ハエはホンマに多いんです。じっとしているとすぐにワーンって(=quote;-;)僕に群がるのは、多分メスのハエでしょうけどネ…(^w^)



《1日の疲れを癒す温泉前にて。右から山下さん・長野さん・三田さん》

《宿泊所にて三田さんのお世話中の神橋》

《ランチタイム報告》 6月30日



本日の作業は午前中大船渡市猪川公民館にて物資の仕分けです。

作業内容は主に毛布・タオルケットを使えるもの、使えないものに仕分けします！数々の物資を仕分けしたらなんと7割が使えないものと判断されました！

改めてタイミングと被災者の方々のニーズ、私達の行動が合致しなければならぬ重要性を痛感しました！相手の気持ちになっての支援が求められます！

ただ作業は3日間ほぼ同じメンバーでやりますので、作業スピードは格段に上がってきています！やはり夜の懇親の成果ですね！“心合わせ、力合わせ、気合い合わせ”これがマッチした時の労働組合の団結力は素晴らしい！って久しぶりに思いました！ここまでは体も心も順調です！かなりオーバーペースの感も否めません。今晚も体の手入れを怠らず、エアースロンパスとアンメルツのお世話になり万全にしていきたいと思います！以上、ランチタイム報告は三田でした！

P・S ヨンさまからも救援物資が届いてました！国際的な支援の輪を感じずにはられません



《仮設住宅での作業》 6月30日



本日午後からの作業は、出来たばかりの仮設住宅に、これから住む被災者の方が必要とする生活必需品を世帯別に搬入する作業でした。整然と立ちならぶ仮設住宅は、津波に流された家屋に比例して相当数ありましたが、日増しに強まる団結力で効率的に進めることができ充実した作業となりました。それと同時に今だに仮設住宅に入れず避難所生活を強いられている被災者が多数いる事に心が痛み、改めて津波災害の凄まじさを見せつけられた感です。作業後には大船渡市隣街の陸前高田市に視察に行きました。海と陸地の境もわからず、ニュースで見た陸前高田市市役所を含む数ヶ所の建物以外は跡形もなく街自体消えてなくなった壊滅的状况を目の当たりにし、呆然と立ち尽くすしかありませんでしたが、必ずや復興できると信じ明日からの支援作業に励みます。本日の報告、長野でした。

※写真は、仮設住宅の中と大被害を受けた陸前高田市の様子です。

《今日は別れての作業》 7月1日



《力仕事は任せなさいとばかりの視線を送る
山下くん》



《展示会場でひたすらやったことのない
食器ふきをしてる神橋君》

昨夜、ベースキャンプ周辺は夜かなりの雨が降りましたが、4人の日頃の行いがいいのでしょう、大船渡市内は曇りがちなながらも時より日が差し、最高予想気温も25度と作業するには絶好の気象条件となりました。本日の全労金班は近畿・九州に別れての作業となりました！それぞれより報告します！

近畿班からの報告です。本日の作業場所は大船渡市の赤崎漁村センター内での作業となりました！作業内容はセンター内で開催されている衣類等大展示無料配布会会場での整理作業です。整理作業ってわかりやすく言えば、スーパーや百貨店の衣料品売場で、お客さんが買い物をしたあと商品が散乱している状態を元通りするような光景を思い浮かべて下さればいいと思います。会場では地元の被災者の方から、“ご苦労様”と声をかけられれば本当に嬉しいですよ！力が倍増します！いつもとは違う作業のため、手放すことができなかったエアースロンパスも今日は休日となりそうですが、長時間の立ち仕事になるため、アンメルツにはいつもの2倍頑張ってもらわなければいけません！午後からも同様の作業ですが、腰と相談しながら頑張ります。（報告：



《展示会場入口》

三田)

続いて九州班からの報告です。本日の九州チームの活動内容はアパート周りの瓦礫除去です。瓦やブロック、日用品、雑誌など大量の瓦礫が土砂に埋まっており、それらをスコップや手作業で除去するのが仕事です。時たま見つかるアルバム写真や指輪などは他の瓦礫と別にして大切に取り扱いなければなりません。持ち主が無事であることを願いつつ、皆、泥だらけになりながら作業を行っています。ボランティアを始めて最も大変な作業ですが、一刻も早く大船渡市が元の姿に戻れるよう午後からも頑張ります！（報告:山下）

《BCを支えるスタッフ》 7月1日



《作業したアパートの様子》



《サイン色紙を手にご満悦の近畿2人(^_^)》

ボランティア作業4日目、無事にケガもなく終了しました。九州班は、アパートの家主の依頼に基づき、瓦礫の除去作業。「電気も水もまだ来ていない」「避難するので精一杯で、アパートの屋根まで水没した状況は報道で知った」「1階の住人が避難出来ずに亡くなった」などの生々しい話を、家主さんから聞かせていただきました。近畿班からの報告は、作業中に大スターから救援物資到着♪なんとEXILEから大量の物資が届きました(^0^市)の職員の方と一緒に大騒ぎしました♪

我々ボランティアが全力で活動出来る背景には、裏で支えて下さるスタッフの方々の支えが不可欠です。備品の管理・社協との連携・BCの掃除等々です。写真の連合青森の赤間さん

は、毎朝4時に起きて我々の出発の準備をしていただき、夜は消灯まで酒に付き合いいただき…(*^o^*)年代・地域など様々な人間が集まるBCを支える彼らの活躍無くして、ボランティア活動は出来ない事、どうしてもお伝えしたかったです。本当に1週間お世話になりました♪

今夜は早くもBCで過ごす最後の夜となりました。この後、懇親会を開催いただき、一緒に活動した連合の仲間と親交を深める予定です(^0^)(報告：神橋)



《支えていただいたスタッフの赤間さん》

《ちからの限り…》 7月2日



《今日作業を一緒に行った全電線さん・東水労さんのメンバー》



《全労金メンバーの作業風景》

作業最終日、今日は昨日九州の2人が参加した場所での作業を全電線、東水労、全労金の3組織10名で行いました。

昨日に続き依頼主さんからアイス、ポカリの差し入れを頂きました。ご自身のことが大変な状況にも関わらず、作業するボランティアへの暖かい心遣いに、本当に感謝感謝です！作業はさすがに夜の交流会を続けたメンバーということもあり、息もピッタリ、順調に進みました！想像以上の瓦礫の量に悪戦苦闘しながらも、本日依頼のあった作業は完了、別作業での継続依頼となりました。

これで第9次派遣の全行動が終了しました。まだまだ作業を続けたい…、そんな思いもありますが、この後の第10次派遣のメンバーに託したいと思います！

今回ボランティア活動の拠点となった大船渡社協に戻ると嬉しいことがありました。今日は土曜日ということもあり、かなりの数のボランティアが集結しており、社協の方々がボランティアのためにそうめんを用意して頂いてました！疲れたからだに地元の方々からの暖かいお心遣いにまたまた感動してしまいました。（報告：三田）



《社協でそうめんを食する九州の2人》

《第9次派遣、任務完了》 7月2日



6月27日に出発した全労金第9次派遣の4名はその任務を全うし、住田BCを後にしました！

この5日間の活動は、被災者の方にとってはちっぽけなものだったのかもしれませんが。しかし復興に向け少しでも歩みを進める一歩いや半歩程度は貢献できたのではないかと考えています。何歩歩けば東北全体が復興するのか、その道のりはまだまだ険しいと思います！しかし、今回の派遣を通じて地元の方々と接し、復興に向け活動している我々ボランティアへの感謝の気持ち、そして何よりも必ず復興するんだという強い意志を感じとることができ、東北の復興が成し遂げられるであろう、いや必ず成し遂げられることを確信しました！

私達のバトンは第10次派遣の方々に引き継ぎますが、第9次派遣4人の熱き思いは住田BCに置いてきました！その熱き思いと共に活動していただければ幸いです。

ここで第9次派遣メンバー一人ひとりからのメッセージを送らせていただきます。



《九州労組大分支部／長野》

最終日の夕食時、参加者全員の顔が充実感で満ちあふていました。BCスタッフの方々から10年後、復興したこの土地をまた訪れてほしいと言われて胸が熱くなりました。今回の経験、正直自分に何が出来るかの思いもありましたが、全国各地から様々な思いで参集したこのチームで目的を共有し共に活動していると、やっぱり「団結って素晴らしい」、そんな思いが胸にこみあげ改めて労働組合の原点を見つめなおす機会となりました。また、私たちの為にさらにボランティアを行う地域の方々やBCスタッフの方々に感謝の気持ちで一杯で、繋がりの大切が身に染みんでいます。最後に、応援メッセージを送って頂いた全国各

地の皆さん、地元大分から自分を送り出した職場や支部の皆さん、大変ありがとうございました。復興に向けた支援の輪を広げ、この経験をこれからの活動に生かしていきます。

《近畿労組／神橋》

現地に行くまでは「体力・精神力がもつだろうか?」「被災地の方へどう接すれば?」など悩みましたが、到着すれば体力は無限に湧いてくるし、被災地の方からは、むしろ温かい言葉をいただく日々、そして最終日にはまだまだやり足りないその後髪をひかれる思いで、充実した1週間でした。しかし結局のところ私達が出来たことは、ほんの僅かな事です。これから先も全国の仲間が少しずつ力を合わせる事が、被災地の復興に繋がると感じました。最後に、快くボランティアへ送り出していただいた京都分会のみなさん、日々のブログへ励ましのコメントをいただいたみなさん、本当にありがとうございました♪力になりました!みんな大好きです(^o^)

《九州労組熊本支部／山下》

5日間のボランティア活動が今、無事に終わりました。大船渡市、陸前高田市の被害状況は想像していたより悲惨でした。360度、瓦礫の山です。水道や電気も復旧の目処は立っていません。しかし、大船渡市では「商店街を再度作り直そう」という動きがもう始まっているそうです。この話を聞いたとき、被災者の前向きな思いに心を強く打たれました。東北は必ず復興すると確信しています。この5日間のボランティア活動を通して、ほんの少しですが大船渡市の助けになり、前に進めることができたことを嬉しく思います。そして、今後も東北を支え続けたいと考えています。最後に、長野さん、三田さん、神橋さん、連合の方々、ボランティアセンターの方々、そして職場の方々、5日間のボランティア活動を支えていただき本当にありがとうございました!

《近畿労組／三田》

チーム長野、リーダーの統率力のおかげで、あわせて天候にも恵まれ、4名一致団結して作業にあたることができました。今日初めて瓦礫の撤去作業をやらせていただき、依頼主さんの被災しても相手のことを考えた暖かな心遣いに、本当に自分が役に立てたのか…、まだまだ継続して作業を…、と思うとブログを打っている携帯画面が涙でかすんで見えません(本郷委員長、本当でしたね)。でも自信を持って大阪に帰ります。最後に、私の腰、本当によくもってくれました!自分で自分を誉めてあげたいと思います。

最後になりますが、この間180件もの応援メッセージをいただきました!皆さん方の応援がどれ程私達の力となったことか、言葉には表せないものがあります。本当に感謝申し上げます!また、大変忙しい中、快く現地に送り出してくれた職場の仲間へ感謝しながら、全労金第9次派遣の最後のブログにしたいと思います!本当に応援ありがとうございました!つながろう、NIPPON!

以上